

令和4年度事業計画

公益財団法人 滋賀食肉公社

1 基本方針

当法人は、安全安心な食肉を安定的に供給するという社会的使命のもと、県内唯一の食肉流通拠点である「滋賀食肉センター」の施設整備および管理運営を行うとともに、食肉の衛生に関する知識の普及啓発に取り組んできている。

平成19年度の操業開始から16年目を迎え、施設・設備の老朽化が重大な課題となってきたほか、業務運営や財務上の課題、食肉流通をめぐる情勢の変化など、対応すべき課題は多い。

令和3年度は、施設・設備の長期保全に向けた調査を行い、滋賀食肉センター長期保全計画を策定したところであり、令和4年度においては、同計画に基づき、県の支援を受けながら、老朽化した施設・設備の計画的な更新・修繕を進めていく。

また、令和4年度は、第4期にあたる経営健全化計画の策定作業を進め、将来にわたる持続的な経営が可能となるよう、経営基盤の強化を図る。

2 事業計画

(1) と畜計画頭数

県内の黒毛和牛の飼養頭数は、着実に増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響や飼料価格の動向などの不安定要素はあるものの、令和3年度のと畜頭数の落ち込みは、ある程度回復すると考えられるため、牛のと畜計画頭数は令和3年度と畜頭数8,352頭から約400頭の増とする。

(令和4年度計画)

牛と畜頭数 8,750頭

(2) 食肉センターの経営健全化

県が推進する近江牛増頭対策がセンターのと畜頭数の増加に結びつくよう、令和5年度以降の経営にかかる第4次経営健全化計画の策定を進め、引き続き、県からの直接的支援を要請しつつ収支改善に向けた取組を進める。

(3) 食肉センターの施設・設備の適切な維持管理

令和3年度に策定した滋賀食肉センター長期保全計画に基づく保全工事については、対象工事の緊急性や重要性を勘案し、優先順位をつけて、県の支援を得ながら実施し、施設・設備の適切な維持管理を図る。

(4) HACCP方式による衛生管理の一層の推進

HACCP委員会、管理運営会議、業務調整会議等の定期会議を通じ、施設・設備面、運用面の両面にわたり衛生面での課題解決を図るなど、HACCP方式による衛生管理を一層推進する。

(5) 安全安心を届ける普及啓発事業の展開

新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、平成25年に策定した「安全安心を届ける普及啓発プラン」に沿って普及啓発事業を実施する。

- ・講習会、出前講座等の開催、食肉関連イベント等への参画
- ・学習目的視察の受け入れ

収 支 予 算 書

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	23,000	70,000	△ 47,000	
事業収益	108,245,000	108,300,000	△ 55,000	
受取補助金等	288,689,000	255,671,000	33,018,000	
受取負担金	42,357,000	39,559,000	2,798,000	
固定資産受贈益	588,000	588,000	-	
雑収益	830,000	981,000	△ 151,000	
経常収益計	440,732,000	405,169,000	35,563,000	
(2) 経常費用				
事業費	315,453,000	289,716,949	25,736,051	
管理費	14,548,000	18,987,051	△ 4,439,051	
経常費用計	330,001,000	308,704,000	21,297,000	
(うち人件費)	39,490,000	39,876,000	△ 386,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	110,731,000	96,465,000	14,266,000	
評価損益等計	-	-	-	
当期経常増減額	110,731,000	96,465,000	14,266,000	
当期一般正味財産増減額	110,731,000	96,465,000	14,266,000	
一般正味財産期首残高	△ 890,260,060	△ 906,919,518	16,659,458	
一般正味財産期末残高	△ 779,529,060	△ 810,454,518	30,925,458	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	170,000,000	88,730,000	81,270,000	
一般正味財産への振替額	△ 59,868,000	△ 52,178,000	△ 7,690,000	
当期指定正味財産増減額	110,132,000	36,552,000	73,580,000	
指定正味財産期首残高	1,662,876,201	1,657,191,400	5,684,801	
指定正味財産期末残高	1,773,008,201	1,693,743,400	79,264,801	
III 正味財産期末残高	993,479,141	883,288,882	110,190,259	

収支予算書内訳表

自 令和 4 年 4 月 1 日
至 令和 5 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	—	—	23,000	—	23,000
事業収益	60,497,000	47,748,000	—	—	108,245,000
受取補助金等	191,361,000	78,611,000	18,717,000	—	288,689,000
受取負担金	42,355,000	2,000	—	—	42,357,000
固定資産受贈益	—	—	588,000	—	588,000
雑収益	1,000	829,000	—	—	830,000
経常収益計	294,214,000	127,190,000	19,328,000	—	440,732,000
(2) 経常費用					
事業費用	253,758,000	61,695,000	—	—	315,453,000
管理費用	—	—	14,548,000	—	14,548,000
経常費用計	253,758,000	61,695,000	14,548,000	—	330,001,000
(うち人件費)	34,150,000	3,937,000	1,403,000	—	39,490,000
評価損益等調整前当期経常増減額	40,456,000	65,495,000	4,780,000	—	110,731,000
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	40,456,000	65,495,000	4,780,000	—	110,731,000
当期一般正味財産増減額	40,456,000	65,495,000	4,780,000	—	110,731,000
一般正味財産期首残高	△1,053,208,701	186,315,406	△23,366,765	—	△890,260,060
一般正味財産期末残高	△1,012,752,701	251,810,406	△18,586,765	—	△779,529,060
II 指定正味財産増減の部					
受取補助金等	170,000,000	—	—	—	170,000,000
一般正味財産への振替額	△35,722,000	△23,457,000	△ 689,000	—	△59,868,000
当期指定正味財産増減額	134,278,000	△23,457,000	△ 689,000	—	110,132,000
指定正味財産期首残高	1,606,293,361	62,067,199	△ 5,484,359	—	1,662,876,201
指定正味財産期末残高	1,740,571,361	38,610,199	△ 6,173,359	—	1,773,008,201
III 正味財産期末残高	727,818,660	290,420,605	△24,760,124	—	993,479,141

資金調達および設備投資の見込みについて

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 31 日

1 資金調達の見込みについて

(単位 千円)

借 入 先	金 額	使 途
滋賀県	13,000	経営円滑化

2 設備投資の見込みについて

(単位 千円)

設備投資の内容	支出または 収入の予定額	資 金 調 達 方 法 または取得資金の用途
と畜解体に係る設備機器更新 一式	200,000	補助金

令和3年度事業報告

公益財団法人 滋賀食肉公社

1 事業概要

「近江牛」をはじめとする県内産食肉の流通拠点である「滋賀食肉センター（以下「センター」という。）」の設置および管理者として、安全安心な食肉を安定的に供給するため、HACCP（危害分析・重要管理点）方式による衛生管理を推進した。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響やこれに関連すると思われる枝肉価格の不安定な動向等から、令和2年に県内飼養肉牛が滞留し、その結果、当該時期に子牛の仕入れが減少したことなどにより、当期の出荷頭数が減少し、と畜場使用料等の事業収益が低迷した。さらにはセンター施設使用に係る副生物処理・取引業務について、滋賀県副生物協同組合と係争中であることにより、副生物施設負担金の受取負担金が減少したが、減価償却費の減少や県からの支援の結果、昨年度に引き続き、単年度黒字（当期一般正味財産の増額）を達成した。

しかしながら、光熱水費や燃料費等の高騰に加え、老朽化が進む施設・設備等への緊急対応が増加していることなどから、資金繰りが悪化するなど厳しい経営状況が続いている。

2 事業実績

(1) 安全安心な食肉を提供する事業

ア 衛生管理を徹底したセンターの管理および運営

マニュアルに基づき日々の衛生管理体制を強化するとともに、管理運営会議や業務調整会議等において、センター構成機関が定期的な意見交換を行うなど業務改善に努め、HACCP方式に基づく衛生水準の一層の強化や業務の見直しを行うことができた。

また、施設の維持管理については、操業開始から10年以上が経過し、設備の老朽化が進み、更新時期が到来した機器が多く見られる中、優先度合いを計りつつ点検整備を実施し、適切な維持管理に努めるとともに計画的な設備更新を行った。また、経費の節減を図りながら施設の長寿命化を図るため、令和4年度から令和33年度を計画期間とする長期保全計画を策定した。

イ 普及啓発事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受け各種イベントの開催が中止されたため、公共施設等での展示を中心に、センターの取組や食肉の安全についての啓発を行った。なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、センター施設見学の受け入れは停止している。

(2) センターの経営健全化対策事業

前年度に引き続き、単年度黒字を計上したが、多額の累積債務を抱え、厳しい経営状況が続いている。牛のと畜頭数については、計画頭数および前年度実績頭数を下回った。

こうした厳しい経営状況を改善すべく、経営の健全化と長期安定的なセンター運営の早期実現を図るため、平成29年3月に策定した第3次経営健全化計画に沿って、経常的な経費の節減や大規模太陽光発電事業の実施、閑散期におけると畜日削減の試行等、収支両面にわたる経営健全化対策を実施した。

牛と畜頭数

計画	9,300頭
実績	8,352頭

正味財産増減計算書

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	23,126	63,423	△ 40,297
事業収益	100,181,710	105,916,462	△ 5,734,752
受取補助金等	284,500,913	277,430,744	7,070,169
受取負担金	27,741,141	41,362,685	△ 13,621,544
固定資産受贈益	588,300	588,300	—
雑収益	881,483	1,914,709	△ 1,033,226
経常収益計	413,916,673	427,276,323	△ 13,359,650
(2) 経常費用			
事業費用	372,604,496	399,042,493	△ 26,437,997
管理費用	24,652,719	13,111,096	11,541,623
経常費用計	397,257,215	412,153,589	△ 14,896,374
(うち人件費)	40,295,370	39,837,931	457,439
評価損益等調整前当期経常増減額	16,659,458	15,122,734	1,536,724
評価損益等計	—	—	—
当期経常増減額	16,659,458	15,122,734	1,536,724
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	—	—	—
(2) 経常外費用			
経常外費用計	—	—	—
当期経常外増減額	—	—	—
当期一般正味財産増減額	16,659,458	15,122,734	1,536,724
一般正味財産期首残高	△ 906,919,518	△ 922,042,252	15,122,734
一般正味財産期末残高	△ 890,260,060	△ 906,919,518	16,659,458
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	61,925,299	73,049,230	△ 11,123,931
一般正味財産への振替額	△ 56,240,498	△ 54,198,175	△ 2,042,323
当期指定正味財産増減額	5,684,801	18,851,055	△ 13,166,254
指定正味財産期首残高	1,657,191,400	1,638,340,345	18,851,055
指定正味財産期末残高	1,662,876,201	1,657,191,400	5,684,801
III 正味財産期末残高	772,616,141	750,271,882	22,344,259

正味財産増減計算書内訳表

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内部取 引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	—	—	23,126	—	23,126
事業収益	58,202,118	41,979,592	—	—	100,181,710
受取補助金等	184,724,084	75,599,628	24,177,201	—	284,500,913
受取負担金	27,738,841	2,221	79	—	27,741,141
固定資産受贈益	—	—	588,300	—	588,300
雑収益	20,416	861,029	38	—	881,483
経常収益計	270,685,459	118,442,470	24,788,744	—	413,916,673
(2) 経常費用					
事業費用	266,330,533	106,273,963	—	—	372,604,496
管理費用	—	—	24,652,719	—	24,652,719
経常費用計	266,330,533	106,273,963	24,652,719	—	397,257,215
(うち人件費)	34,999,567	3,921,991	1,373,812	—	40,295,370
評価損益等調整前当期経 常増減額	4,354,926	12,168,507	136,025	—	16,659,458
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	4,354,926	12,168,507	136,025	—	16,659,458
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	—	—	—	—	—
(2) 経常外費用					
経常外費用計	—	—	—	—	—
当期経常外増減額	—	—	—	—	—
他会計振替額	2,568,539	△2,568,539	—	—	—
当期一般正味財産増減額	6,923,465	9,599,968	136,025	—	16,659,458
一般正味財産期首残高	△1,060,132, 166	176,715,438	△23,502,790	—	△906,919, 518
一般正味財産期末残高	△1,053,208, 701	186,315,406	△23,366,765	—	△890,260, 060
II 指定正味財産増減の部					
受取補助金等	36,177,411	25,474,920	272,968	—	61,925,299
一般正味財産への振替額	△33,666,883	△20,035,571	△ 2,538,044	—	△56,240,498
当期指定正味財産増減額	2,510,528	5,439,349	△ 2,265,076	—	5,684,801
指定正味財産期首残高	1,603,782, 833	56,627,850	△ 3,219,283	—	1,657,191, 400
指定正味財産期末残高	1,606,293, 361	62,067,199	△ 5,484,359	—	1,662,876, 201
III 正味財産期末残高	553,084,660	248,382,605	△28,851,124	—	772,616,141

貸 借 対 照 表

令和 4 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	25,605,632	28,656,512	△ 3,050,880
未収金	21,566,288	25,429,315	△ 3,863,027
前払金	-	28,030	△ 28,030
流動資産合計	47,171,920	54,113,857	△ 6,941,937
2 固定資産			
(1) 基本財産			
土地建物	1,340,000,000	1,340,000,000	-
定期預金	4,513,075	5,101,375	△ 588,300
基本財産合計	57,500,000	57,500,000	-
(2) 特定資産			
建物付属設備	76,032,298	55,008,408	21,023,890
機械・装置	172,028,028	178,569,736	△ 6,541,708
工具・器具・備品	625,389	823,002	△ 197,613
建設仮勘定	3,798,360	3,798,360	-
ソフトウェア	8,379,051	16,390,519	△ 8,011,468
特定資産合計	260,863,126	254,590,025	6,273,101
(3) その他固定資産			
建物付属設備	735,764,677	782,891,705	△ 47,127,028
構築物	18,771,432	22,866,921	△ 4,095,489
機械・装置	34,260,830	37,704,403	△ 3,443,573
車両運搬具	24,151,695	11,642,706	12,508,989
工具・器具・備品	6	64,683	△ 64,677
出資金	276,385	359,969	△ 83,584
長期未収金	10,000	10,000	-
その他固定資産合計	111,113,250	116,113,250	△ 5,000,000
固定資産合計	924,348,275	971,653,637	△ 47,305,362
資産合計	2,587,224,476	2,628,845,037	△ 41,620,561
	2,634,396,396	2,682,958,894	△ 48,562,498
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	10,828,586	8,267,782	2,560,804
前受金	46,780	46,780	-
短期借入金	1,701,199	1,265,236	435,963
未払消費税等	45,162,762	56,000,000	△ 10,837,238
賞与引当金	-	2,036,200	△ 2,036,200
流動負債合計	2,445,240	2,507,878	△ 62,638
2 固定負債			
長期借入金	60,184,567	70,123,876	△ 9,939,309
受入保証金	1,790,514,356	1,851,481,804	△ 60,967,448
固定負債合計	11,081,332	11,081,332	-
負債合計	1,801,595,688	1,862,563,136	△ 60,967,448
	1,861,780,255	1,932,687,012	△ 70,906,757
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	57,500,000	57,500,000	-
寄付土地建物	1,340,000,000	1,340,000,000	-
補助金	4,513,075	5,101,375	△ 588,300
指定正味財産合計	260,863,126	254,590,025	6,273,101
(うち基本財産への充当額)	1,662,876,201	1,657,191,400	5,684,801
(うち特定資産への充当額)	(1,402,013,075)	(1,402,601,375)	(△ 588,300)
	(260,863,126)	(254,590,025)	(6,273,101)
2 一般正味財産	△ 890,260,060	△ 906,919,518	16,659,458
正味財産合計	772,616,141	750,271,882	22,344,259
負債及び正味財産合計	2,634,396,396	2,682,958,894	△ 48,562,498